

科目名	教育と倫理 A, B	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	平野 克典	単位	2	年次	1

### ＝授業科目の目標＝

道徳教育の内容と観点と方法を理解、説明、実践できることを目標とする。

第一の目標は、内容に相当する道徳（倫理）の基礎知識を世界の三大宗教や古今東西の倫理思想を比較検討することで習得する。

第二の目標は、習得した基礎知識を日本の道徳教育が示す観点に即して再考・整理する。

第三の目標は、観点到即した内容を効果的に伝える指導方法を検討し、その方法を身につける。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

積極的な授業参加。

携帯端末使用禁止。

私語厳禁。

本授業では成績評価の判断材料となる複数回のレポートが課せられる。

### ＝授業内容＝

- 1回 イン트로ダクション
- 2回 道徳とはなにか
- 3回 倫理と宗教
- 4回 宗教とはなにか
- 5回 キリスト教にみる倫理観
- 6回 イスラム教にみる倫理観
- 7回 仏教にみる倫理観
- 8回 西洋思想にみる倫理観（1）古代ギリシャの思想
- 9回 西洋思想にみる倫理観（2）近代ヨーロッパの思想
- 10回 東洋思想にみる倫理観（1）儒教：孔子、孟子、荀子
- 11回 東洋思想にみる倫理観（2）道教：老子、荘子
- 12回 現代の倫理的課題：科学技術の発展に伴う問題
- 13回 現代の倫理的課題：国際化に伴う問題
- 14回 倫理教育の実践：自分自身と他の人とのかかわりに関すること
- 15回 倫理教育の実践：自然や崇高なものと集団と社会との関わりに関すること

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験（50%）とレポート（30%）と授業への参加状況（20%）を総合的に評価する。

### ＝テキスト（必携）＝

『中学校学習指導要領解説、道徳編』、文部科学省、日本文教出版、2008年、143円、ISBN-10：4536590048。

なお、上記テキストはPDFファイルで無料ダウンロードが可能である。

また適宜プリントを用意する。